



# 明治ゆかりの臨江閣で 記念イベントを

今年は明治元年から150年目の年。明治時代ゆかりの建造物・臨江閣で、国の重要文化財の指定と明治150年を記念したイベントを開催します。

● **記念シンポジウム「未来へ贈る」**  
臨江閣の歴史的な価値などを掘り下げるシンポジウムを開催。1部では基調講演を、2部ではシンポジウムとして上毛新聞社顧問・論説委員の藤井浩さんをコーディネーターに、基調講演の講師に加えて下村善太郎初代前橋市長の曾孫である下村洋之助さん、市文化協会会長の清水和夫さんがパネラーとして話します。  
また、参加者には記念クリアファイルを配布します。  
日時 11月25日(日)13時～16時  
対象 一般、先着200人  
内容・出演 近代和風建築と臨江閣 神奈川大工学部建築学科教授・内田青蔵さん、「臨江閣の耐震設計とその考え方」東洋大理工学部建築学科教授・松野浩一さん、「歴史的建造物の保存活用の現状と課題」県文化財保護審議会副会長・村田敬一さん  
申し込み 11月9日(金)から文化財保護課  
☎ 027・280・6511へ

● **臨江閣を写真と資料で振り返る**  
「ここまでわかった臨江閣」  
臨江閣の古写真や修復工事の写真パネル、工事で確認された明治期の道具と技術についての資料などを展示します。  
また、パネル展示解説と臨江閣案内を11月25日(日)10時と11時に実施。各回先着30人です。希望者は会場で直接申し込みください。  
日時 11月25日(日)9時～17時  
☎ 文化財保護課  
☎ 027・280・6511

● **明治の偉人をパネルと紙芝居で**  
前橋学市民学芸員が明治期の人物を調査し作成したパネルと紙芝居を展示。11時と12時からは実際に紙芝居を読みます。前橋の発展を支えるとともに、日本の近代化に貢献した偉人の功績を紹介します。  
期日 11月25日(日)  
☎ 文化国際課  
☎ 027・898・6992



紙芝居も展示します

## 県内限定で記念切手を発売

国の重要文化財に指定されたことを記念して、記念切手を県内の各郵便局限定で発売。発行予定数は1,000部、価格は1,300円です。



アーティストの高橋匡太さんによるライトアップ。明治時代の流行色で臨江閣を照らしています(撮影 木暮伸也)

## 前橋と臨江閣 共に歩んだ歴史

第二次世界大戦末期の昭和20年には前橋市役所が別館に移り、昭和29年まで市役所庁舎として利用。その後は公民館として活用し、昭和57年には中央公民館分館に。この過程で「臨江閣保存及び今後の利用方法等検討懇話会」が設置され、臨江閣の今後の保存整備、利活用について議論。この議論が昭和62年からの本館修復工事へとつながりました。

本館と茶室は、昭和61年3月に県の重要文化財に、別館は同年6

月に市の重要文化財に指定されています。そして平成23年、本市では臨江閣のさらなる保存活用や整備について協議するため、委員会設置や計画策定を実施しました。平成27年にはNHK大河ドラマ「花燃ゆ」が放映に。登場人物の楯取素彦ゆかりの地である臨江閣が一層注目されるようになりました。平成28年3月から翌年まで、保存整備のための修復工事を実施。昨年工事を終え9月から再開館し、観覧と併せて一般利用貸し出しができるようになります。ライトアップも実施し、新しくなった臨江閣による新たな取り組みも行っていきます。

そして今年5月、文化庁文化審議会で、臨江閣は歴史的価値を有すると評価され、国の指定重要文化財に答申。8月17日の官報告示で正式に国の重要文化財に指定されました。本市の建造物では柏倉町の阿久沢家住宅に次いで2件目です。

明治期から前橋と共に歩んできた臨江閣。この歴史的価値を、後世につないでいきます。

## 臨江閣の見どころ紹介します

臨江閣では、観光ボランティア会によるガイドも実施。知られざる魅力や見どころを紹介します。一緒に臨江閣を巡りませんか。

私たちが案内します!



左から川合さん、奥田さん、尾内さん



各部屋から庭園が見えます。窓から見える景色も一緒に楽しんでください



本館の一番奥にある一の間。他の部屋とは違った雰囲気が漂います



180畳の大広間にある吉田初三郎の前橋市鳥瞰図は圧巻です